

冬号 (Vol.40 : 2025年1月発行)

広尾館だより

新しい年を迎えました。皆さんにとって図書館はどのような場所でしょうか。文献を調べたり、学習したりはもちろん、時にはひとりで静まったり、立ち止まって思索を深めたり……。最近、患者さんが利用できる図書スペースがある病院も増えてきました。電子化が進む中、私たちにとって図書館が、本を通してさまざまな人に会い、自分自身とも出会える場所であれば素敵ですね。

冬の読書案内

『雪とパイナップル』 著者:鎌田實(集英社)

登録番号O106134
請求記号543/K

この本は、チェルノブイリ原発事故による放射線汚染で白血病を患った少年と日本人看護師の交流を描いた物語です。少年が「パイナップルが食べたい」と願った言葉を胸に、看護師は極寒の地を何日もかけて果物を探し歩きます。この誠実な行動が、少年の母親の心に深く刻まれ、看護師への感謝の気持ちを抱き続けました。

大学生になった今、この本を読み返し、日本の医療技術がいかに進歩しても、患者に寄り添い心から尽くす姿勢こそが医療の根本であると改めて感じました。高校生の時に著者の鎌田實先生の講義を受けたことがあり、「なぜ人は誰かのために生きるのか」という問いを受けたことを思い出しました。この本を通し、不条理で混沌とした現代社会の中でも、目の前の人に優しく接することの大切さを考えさせられます。

この本は、中学校の教科書にも掲載されているため、とても読みやすい一方、大人になって読むとさらに深い気づきを得られる一冊です。私も小学生の時に学校の先生に紹介していただき、夢中になって読んだ思い出のある本です。興味のある方はぜひ読んでみてください。(TBCメンバー学部3年K・T)



学生Web選書 を開催しました。

2024年11/18~11/25の期間で学生Web選書を開催しました。Web上から欲しい本を選べるので、自分の都合に合わせて、ネットがつながればどこからでも気軽に参加が出来る魅力があります。

紀伊国屋POP TBC活動報告

TBCメンバーのおすすめの書籍が12月2日(月)~12月15日(日)の期間、紀伊国屋書店新宿本店にてPOPとともに展示されました。

広尾館・大宮館の
最新情報は
図書館HPまで



通常開館	月~金	8:50 - 21:00
	土	10:00 - 17:30
短縮開館	*土曜日は本学在籍者限定 *教部看護師研修センター研修生は土曜のみ利用可	
休館中開館	8:50 - 14:00	
閉館	8:50 - 17:00	

1月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2月						
日	月	火	水	木	金	土
					7	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

3月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					



年間貸出 ランキング

毎年恒例の年間貸出ランキング！ 今年は人気の高い学生選書コーナーから上位のものを発表いたします。ランキングに載っていないものも人気の作品が多数ありますので是非学生選書コーナーをご覧ください！

1 質的研究法

その理論と方法：
健康・社会科学分野における展開と展望

Pranee・Liamputtong・Rice
(メディカル・サイエンス・インターナショナル)



質的研究法の入門書といえる一冊です。分厚いけれど難解な専門用語も少なくする配慮がされており、網羅的で初心者も安心して読めます。

2 成瀬は天下を取りに行く

宮島 未奈 (新潮社)



‘24本屋大賞受賞
身近にいそうでいない絶妙さ、まっすぐ我が道を進む成瀬の魅力が詰まった物語です！

20代で得た知見

F (KADOKAWA)

学生だったり働いていたり、独身だったり結婚して子供がいたり、20代といっても得られる知見は本当に様々です。あらゆる年代の人にも刺さるエッセイ本。

るるぶ台湾

台北・台中・台南・高雄
JTBパブリッシング



初めて海外に行くなら台湾はいかがですか！日本語を併記してくれているところも多く、親しみやすいところです。

世界図書館探訪

★さまざまな国の図書館を紹介する世界図書館探訪。
第3回はフランス赤十字看護学校パリ校です。

1864年、アンリ・デュナン (Henry Dunant) は、国際赤十字の理念を基にフランス赤十字社を創設し、フランス赤十字看護学校パリ校 (Institut de Formation en Soins Infirmiers Croix-Rouge Française Paris) の母体となる看護師養成学校は、1877年に設立されました。昔からの名残りで校名は専門学校ですが、2009年からは、解剖学、生理学、病理学、心理学、社会人類学などの看護学以外の科目が医学部と連携してカリキュラムが組みこまれ、大学教育に位置づけられています。卒業時には、看護学学士 (Licence) とフランス語でいいます) が授与されます。フランス赤十字看護学校パリ校は、ソルボンヌ大学医学部と提携しており、学生はそこで講義を受けます。すべての授業は録画され、インターネットを通じて動画と授業中の資料へとアクセスできます。看護学校の図書館には、1万点以上の書籍、報告書、論文、雑誌が所蔵されており、約40席の閲覧スペースとパソコン利用ができます。1~2年次の学生にとっては、膨大な学習量をこなすため、図書館は集中して勉強する場として頻りに利用されています。仲の良い同級生と集まり、ノートを見せ合いながら一緒に学び合い、励まし合うことで学習意欲を維持できる貴重な場所となっています。最終学年になると、卒業論文執筆のために図書館の利用頻度が格段に増え、司書さんの指導を受けながらポータルサイトを活用した資料検索スキルを習得します。図書館では、卒業生の論文を閲覧したり、興味のあるテーマに基づいて幅広く資料を検索することで、自己の経験をより深く分析し、看護師になるための専門知識を発展させていきます。卒業後も、学校のポータルサイトを利用できるため、たびたび図書館を訪れて学びを続けている人もいます。また、フランスでは、国立図書館 (写真右下) を気軽に利用する文化があるだけでなく、図書室を併設している病院もあり、人々の暮らしに図書館という場は身近な存在なのです。

文：岡田信子 情報提供：沖本メストル春香 (フランス赤十字看護学校パリ校、2024年卒業生)

参考資料：フランス赤十字パリ、ポータルサイト

① <https://paris.creadoc.croix-rouge.fr/portail/jlbSai?html=Pag&page=Acc&dos=accueil>

フランス赤十字の公式ホームページ (2024年12月22日)

② <https://www.croix-rouge.fr/notre-mouvement-international/nos-origines>

③ <https://www.croix-rouge.fr/notre-histoire/femmes-un-combat-pour-l-engagement>



① ② ③



Institut de Formation en Soins Infirmiers Croix-Rouge Française Paris



Bibliothèque nationale de France